

伏木富山港（新湊地区）国際物流ターミナル



脱炭素化の取組主体	主な取組内容
富山県	伏木富山港港湾脱炭素化推進計画の策定 インバータ制御方式のガントリークレーンの導入 L E D照明の導入
伏木海陸運送株式会社 日本通運株式会社 富山港湾運送株式会社	ハイブリッド型 R T G の導入

認証レベル
Level 3

(認証日 令和8年4月14日)

CO₂排出量原単位
8.63 kgs CO₂ / TEU

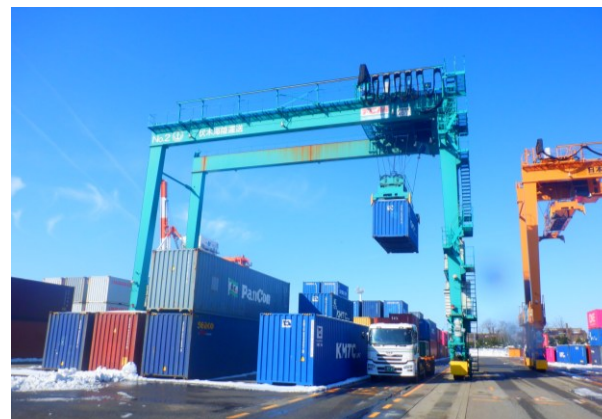
[ターミナル概要]

新湊地区国際物流ターミナルは平成14年（2002年）4月に供用開始し、岸壁延長408m、水深12m、ヤード面積13.1haを有するとともに、ガントリークレーン2基、トランスファークレーン4基などの荷役機械を備えています。

コンテナ船1,000TEU級の2隻同時接岸が可能であり、対岸諸国との外貿定期コンテナ航路、国際フィーダー航路が就航しており、ものづくり県を支える環日本海物流拠点として、さらなる機能強化や利用促進、脱炭素化を図ります。



インバータ制御方式のガントリークレーン



ハイブリッド型 R T G



ヤード内の L E D 照明